

県民意見提出制度による提出意見とそれに対する県の考え方

「山梨県教育大綱」(素案)

No	該当箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
1	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅲ だれもが安心して学べる教育環境の整備 基本方針1 質の高い教育のための環境整備に努めます (2)魅力ある学校を支える指導体制の充実</p>	<p>1つ目は、進学校の先生が生徒さんに大学進学を強要したり勧めたりしてはいけない。なぜなら、生徒さんが大学進学の場合ですと勉強量の負担が重いため、体を壊す心配があるからです。また、規則正しい生活が乱れやすいからです。</p> <p>2つ目は、進学校の先生や生徒さんが大学進学をこだわってはいけない。なぜなら、進学校の先生などが大学進学ばかり考えてしまうと、専門学校指導と就職指導の積極的な取り組みができなくなるからです。また、就職指導の経験不足が深刻になるから望ましくありません。</p> <p>これらの2つをぜひ、ポスターやチラシなどで呼びかけてもらいたいです。</p>	1	<p>【その他】 生徒は高等学校での学びを通して自らの進路を考え、進路選択をしていきます。</p> <p>なお、進路に関する情報を全クラスに提供しているとともに、進路指導室では生徒自ら自由な閲覧や検索が可能です。</p> <p>学校での様々な行事や体験、授業が、将来、自分がどのように生きるのか、どのような職業を選び社会に貢献できるのかを知るための活動となるよう、今後も生徒の希望を尊重した進路指導に努めて参ります。</p>
2	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅰ 「生きる力」を育む質の高い教育の実現 基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します (1)グローバルに活躍する人材の育成 (2)キャリア教育の推進</p>	<p>従来の進学校は、進学校の先生や生徒さんが、大学進学しか考えていなかったり、進学校で就職や専門学校進学することができる存在は知らなかったことがほとんどでした。</p> <p>このままでは、就職指導経験不足と若者の人口減少がとても深刻につながります。</p> <p>これからの山梨県の公立進学校の高校全て、専門学校指導課と就職指導課を必ず設置してこの2つの指導を積極的な取り組みを強化することが重要です。</p> <p>また普通科の就職・公務員コースを新しく設置して、多くの進学校に通う生徒さんが大学へ進学せず、専門学校や就職の魅力を感じて、専門学校進学と就職をもっと増やして欲しいです。</p> <p>また、民間企業の就職の求人票の数を100件から200件を目標として増やして欲しいです。</p> <p>《 一例：R進学校の求人票の数（従来）0件 →（今後）100件から200件 》</p> <p>1つの学年として進路希望者および決定者の割合は、大学進学—約60%以下、短大・専門学校進学—約20%以上、 就職—約20%以上を実現するのが望ましいと思います。(A案～C案 参照)</p> <p>A案 大学進学—約60%、短大・専門学校進学—約20%、就職—約20% B案 大学進学—約50%、短大・専門学校進学—約30%、就職—約20% C案 大学進学—約50%、短大・専門学校進学—約25%、就職—約25%</p>	1	<p>【その他】 生徒は高等学校での学びを通して自らの進路を考え、進路選択をしていきます。</p> <p>生徒の希望や考えを面談などで理解、把握し、大学のオープンキャンパスや公開授業、企業へのインターンシップ、就職セミナーの紹介など、今後もよりよい進路選択が可能となるよう情報の提供と支援を行って参ります。</p> <p>また、学校での様々な行事や体験、授業が、将来、自分がどのように生きるのか、どのような職業を選び社会に貢献できるのかを知るための活動となるよう、今後も生徒の希望を尊重した進路指導に努めて参ります。</p>

No	該当箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
2		<p>(理由)</p> <p>(その1)生徒の勉強の負担が軽いので、体に優しいと思います。</p> <p>(進路別の比較)大学進学→負担が重い、夜更かしの原因によって寝不足になりやすい 専門学校進学・就職→負担が軽い、早寝早起きの習慣で規則正しい生活になりやすい</p> <p>(その2)山梨県内の若者の人口減少を抑制することができます。</p> <p>(その3)専門学校や就職指導の経験不足を解消されます。</p> <p>(その4)一般の高校と進学校との大学進学率の格差が縮小することが実現されます。</p> <p>(その5)生徒さんが何度もハローワークへ行かなくてすむから。</p> <p>(その6)進学校でビジネスマナーなど職場として必要な科目を勉強して、高校卒業後、就職する早道が重要だと思います。</p> <p>上記の理由を先生や生徒さんにぜひ、知って欲しいです。</p> <p>また、新学期になってから、毎回「専門学校に行ったり、就職することを検討しましょう。」と全校の先生や生徒に呼びかけて欲しいです。</p>	1	
3	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅰ「生きる力」を育む質の高い教育の実現 基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します (1)グローバルに活躍する人材の育成 (2)キャリア教育の推進</p>	<p>従来の進学校は、進学校の先生や生徒さんが、大学進学しか考えていなかったり、進学校で就職や専門学校進学することができる存在は知らなかったことがほとんどでした。</p> <p>このままでは、就職指導経験不足と県内の若者人口減少がとても深刻になります。</p> <p>これからの山梨県の公立進学校の高校(普通科)全て、専門学校指導課と就職指導課を必ず設置してこの2つの指導を積極的な取り組みを強化することが重要です。</p> <p>また、進学校に通う生徒さんがビジネスマナーなどの科目を勉強をして身につけるため、大学へ進学せず就職することが早道であることも重要です。</p> <p>進学校の先生や生徒さんに専門学校進学と就職できる魅力を知ってもらうため、「進学校から就職できるためのガイダンス(仮)」と「進学校から専門学校進学するためのガイダンス(仮)」のそれぞれの小冊子を作って欲しいです。</p> <p>よろしくお願いします。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>現在、進路情報は、冊子だけではなくインターネット等でも提供されており、また、生徒の進路志望に応じた進路ガイダンスも各学校で実施しております。生徒自身が、いかに有益な情報を収集し、進路を選択するかということが大切になってきています。</p> <p>就職希望、進学希望のどちらの場合であっても、ビジネスマナーや一般常識を身につけることは、社会人として大切です。また、グローバル化や情報化、産業構造の大きな変化の中で、社会を生き抜いていく力も同様に必要です。</p> <p>それらの力を育むため、キャリア教育の一層の充実に努めて参ります。</p>

No	該当箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
4	第5章 施策の 具体的方向 基本目標Ⅰ 「生きる力」を 育む質の高い 教育の実現 基本方針1 バランスのとれ た知・徳・体を 育成します (2)豊かな心の 育成	<p>学校側がある1組および1つの学年のクラスが今後、小中高の入学時および新年度になってからは、生徒さん(全員)の自己紹介を廃止することを検討して欲しいです。</p> <p>理由は、生徒さんが友達を作りたくない人も、相手から知られたくない人も、顔など見たくない人もいると思います。</p> <p>そう実現すれば、周りの人からおよびクラスメートからいじめられたりする心配はなくなるイメージがあり、いじめの発生件数および不登校の児童数は減ると思います。</p> <p>また、ある生徒さんが一人ぼっちなままでも、孤立したままでも、小学6年間または中学3年間または高校3年間安心して学校生活ができるサポート体制を整えて欲しいです。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>児童生徒が安全に安心して、生き生きと学校生活を送ることができる教育環境づくりに努めて参ります。</p> <p>なお、サポート体制の整備については、今後も「いじめ防止基本方針」に基づき児童生徒が安心して学校生活を送るために、学校と教育委員会が連携して適切に対処するよう努めて参ります。</p>
5	第5章 施策の 具体的方向 基本目標Ⅰ 「生きる力」を 育む質の高い 教育の実現 基本方針1 バランスのとれ た知・徳・体を 育成します (2)豊かな心の 育成	<p>ある生徒さんが、相手の人からあいさつされたら、自分から「あいさつはお断りします。」や「すみません、この人には関係ありません。」と言ったら、相手からはいじめられたり、ケンカにならないように先生から生徒さんに指導するようにして欲しいです。</p> <p>また、ある生徒さんが一人ぼっちなままでも、孤立したままでも、小学6年間または中学3年間または高校3年間安心して学校生活ができるサポート体制を整えて欲しいです。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>児童生徒が安全に安心して、生き生きと学校生活を送ることができる教育環境づくりに努めて参ります。</p> <p>なお、サポート体制の整備については、今後も「いじめ防止基本方針」に基づき児童生徒が安心して学校生活を送るために、学校と教育委員会が連携して適切に対処するよう努めて参ります。</p>
6	第5章 施策の 具体的方向 基本目標Ⅰ 「生きる力」を 育む質の高い 教育の実現 基本方針1 バランスのとれ た知・徳・体を 育成します (2)豊かな心の 育成	<p>ある生徒さん(転校生や部活が新しく入った生徒を含む)が自己紹介の時、クラスメートの生徒さんに知られたくないときは、先生に「すみませんが、自己紹介はしたくありません。」と伝えれば、周りの人からおよびクラスメートからいじめられたりする心配はなくなるイメージだと思います。そうすれば、いじめの発生件数は減ると思います。</p> <p>また、ある生徒さんが一人ぼっちなままでも、孤立したままでも、小学6年間または中学3年間または高校3年間安心して学校生活ができるサポート体制を整えて欲しいです。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>児童生徒が安全に安心して、生き生きと学校生活を送ることができる教育環境づくりに努めて参ります。</p> <p>なお、サポート体制の整備については、今後も「いじめ防止基本方針」に基づき児童生徒が安心して学校生活を送るために、学校と教育委員会が連携して適切に対処するよう努めて参ります。</p>
7	第5章 施策の 具体的方向 基本目標Ⅰ 「生きる力」を 育む質の高い 教育の実現 基本方針1 バランスのとれ た知・徳・体を 育成します (2)豊かな心の 育成	<p>ある生徒さんが一人ぼっちになっても、孤立しても、転校生でも周りの人からおよびクラスメートからいじめられたり、手を出されたりしないように先生からは口頭などで注意するように呼びかけて欲しいです。</p> <p>また、ある生徒さんが一人ぼっちになったままでも、孤立のままでも、小学6年間または中学3年間または高校3年間安心して学校生活ができるサポート体制を整えて欲しいです。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>児童生徒が安全に安心して、生き生きと学校生活を送ることができる教育環境づくりに努めて参ります。</p> <p>なお、サポート体制の整備については、今後も「いじめ防止基本方針」に基づき児童生徒が安心して学校生活を送るために、学校と教育委員会が連携して適切に対処するよう努めて参ります。</p>

No	該当箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
8	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅰ 「生きる力」を育む質の高い教育の実現 基本方針1 バランスのとれた知・徳・体を育成します (3)健やかな体の育成</p>	<p>山梨県立の高等学校の全てでは、女子の運動部(サッカー・バレーボール・バスケットボールなど)の男子マネージャーを確実に積極的に受け入れて欲しいです。 女子の運動部のマネージャーでは、男子も女子もそれぞれ少なくとも1~3人の合計2~6人のマネージャーを受け入れることが望ましいと思います。 女子マネージャーだけでなく男子マネージャーも女子選手を世話することがとても大切だと思います。</p>	1	<p>【その他】 高等学校運動部のマネージャーについては、業務内容とともに性別や人数など、各部の実態に合わせて各学校の自律的判断により適切に対応しているところです。 今後とも、本計画の基本理念として目指すべき姿でもある、個人や社会の多様性を尊重し、性別、世代、国籍、価値観などの違いを越えて、互いに学び合い、高め合い、支え合う姿が実現されるよう努めて参ります。</p>
9	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅰ 「生きる力」を育む質の高い教育の実現 基本方針1 バランスのとれた知・徳・体を育成します (2)豊かな心の育成</p>	<p>山梨県の公立中学校(一部)や公立高校(一部)では、新入生の時から、多くの男子も女子もリボンのつけ方とスカートの履き方の指導することをなるべく広く知って欲しいです。(どちらもレディースもの)目標は男子、リボンの装着率とスカートの装着率はそれぞれ1つ学年生徒の割合の約30%、そして女子、スラックスの装着率は1つ学年生徒の割合の約30%が望ましいです。 男子がリボンをつけたリスカートを履く人も女子がスラックスを履く人もなるべく多い方が目立たなくてすみます。安心して学校生活ができます。 多くの人から「かわいい」や「かっこいい」や「おしゃれ」など好印象を与えることを分かってほしいです。</p>	1	<p>【その他】 制服の着用については、各学校の判断で適切に対応しているところです。 今後とも、本計画の基本理念として目指すべき姿でもある、個人や社会の多様性を尊重し、性別、世代、国籍、価値観などの違いを越えて、互いに学び合い、高め合い、支え合う姿が実現されるよう努めて参ります。</p>
10	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅰ 「生きる力」を育む質の高い教育の実現 基本方針1 バランスのとれた知・徳・体を育成します (2)豊かな心の育成</p>	<p>従来は、男子がイヤリング(挟むタイプ)やネックレスのつけ方を知らない人が多かったでした。 これからは、山梨県立の高等学校すべて、男子も女子もかわいいイヤリング(挟むタイプ)とネックレスをつけて登校可能を実現して欲しいです。(どちらもレディースもの) また、新入生の時から、多くの男子や女子がイヤリングやネックレスのつけ方を指導することを確実に広く知って欲しいです。 将来、プライベートなどで女子生徒はもちろん、これらのアクセサリーを身につけた事が無い男子生徒もぜひ身につけて、多くの人から「かわいい」や「かっこいい」や「おしゃれ」など好印象を与えることを分かってほしいです。(男女とも両耳にイヤリングをつけることが望ましいです。)</p>	1	<p>【その他】 学校生活におけるイヤリングやネックレスなど装飾品の着用については、各学校の校則に規定するなど対応しているところです。 今後とも、本計画の基本理念として目指すべき姿でもある、個人や社会の多様性を尊重し、性別、世代、国籍、価値観などの違いを越えて、互いに学び合い、高め合い、支え合う姿が実現されるよう努めて参ります。</p>

No	該当箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
11	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅰ 「生きる力」を育む質の高い教育の実現 基本方針1 バランスのとれた知・徳・体を育成します (2)豊かな心の育成</p>	<p>男子生徒および女子生徒が腕時計をはめる時、時計盤が内側に向けてつける習慣をつけて欲しいです。 多くの人から「かわいい」「かっこいい」「おしゃれ」など好印象を与えたりすることを理解したりお互いに協力して社会づくりとして努力することが大切です。 そうすれば、男女とも腕時計が内側に向けてはめる人が増えると思います。</p>	1	<p>【その他】 腕時計のつけ方については、個人的な意向が強く、個別の指導は行っておりませんが、今後とも、本計画の基本理念として目指すべき姿でもある、個人や社会の多様性を尊重し、性別、世代、国籍、価値観などの違いを越えて、互いに学び合い、高め合い、支え合う姿が実現されるよう努めて参ります。</p>
12	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅰ 「生きる力」を育む質の高い教育の実現 基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します (1)グローバルに活躍する人材の育成</p>	<p>山梨県の公立高校(普通科・総合学科・商業科)では、特別授業および家庭科授業の中で「アクセサリーの基礎」という授業をやって欲しいです。このアクセサリーの基礎は、「アクセサリーとは何か?」、「アクセサリーの現状」、「基本の材料」、「イヤリングやネックレスやブレスレットの作り方やつけ方の基本」を学ぶ科目です。基本の材料は、かわいいやカラフルなどの女性向けのものを使います。 将来、プライベートなどで女子生徒はもちろん、これらのアクセサリーを身につけた事がない男子生徒もぜひ身につけて、多くの人から「かわいい」や「かっこいい」や「おしゃれ」など好印象を与えることを分かってほしいです。 そうすれば、「男子イヤリング」(男子が身につけているイヤリング)や「女子イヤリング」(女子が身につけているイヤリング)など、流行する事を実現してくれたらいいなあ~と思います。男子・女子ともアクセサリーをつけるとしたら、かわいいやカラフルなものである女性向けのものがオススメです。個人的には心に癒すと思います。</p>	1	<p>【その他】 高等学校家庭科では、主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てるために、すべての生徒に、「家庭基礎」、「家庭総合」及び「生活デザイン」のうちから1科目を履修させることになっています。「家庭基礎」では、一つの単元の中で被服管理と着装を学ばせることにしており、専門的な「ファッション造形基礎」を開講している学校もあります。 また、県内では学校の特色や生徒の希望に応じて、学校設定科目として「宝石学概論」、「宝飾概論」の授業を開講している高等学校があります。</p>

No	該当箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
13	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅰ 「生きる力」を育む質の高い教育の実現 基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します (2)キャリア教育の推進 (3)イノベーションを牽引する人材の育成</p>	<p>東京圏(東京・神奈川・埼玉・千葉)や山梨県以外の大学進学する生徒さんは、現状としてまだ少ないです。理由は、東京圏や山梨県以外の国公立大学・私立大学の魅力を感じていません。</p> <p>来年度以降は、山梨県立高校の普通科(進学校も含む)と商業科では、「地方大学進学コース」または「地方創生コース」を新しく整備して、東京圏や山梨県以外の大学進学の魅力をもっと感じて、東京圏や山梨県にはない特有の文化などを楽しむのは面白いと思います。</p> <p>中京圏(愛知・岐阜・三重)の大学(国公立大学・私立大学)進学する生徒さんを毎年300人、京阪神(京都・大阪・兵庫)の大学(国公立大学・私立大学)進学する生徒さんを毎年500人、福岡県の大学(国公立大学・私立大学)を毎年200人、北海道や宮城県や広島県の大学(国公立大学・私立大学)をそれぞれ毎年150人を目標として増やしてほしいです。</p> <p>また、「(中京圏)や(京阪神)や(福岡)や(北海道・宮城・広島合同)大学進学フェア」を山梨県で開催するとともにその地方の活性化をめざすことがとても重要だと思います。</p> <p>将来、東京圏や山梨県以外の就職するサポートを整えることが望ましいと思います。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>生徒は高等学校での学びを通して自らの進路を考え、進路選択をしていきます。そのような中で進路講演会、大学や職業調べ、オープンキャンパスへの参加等を通じて自分の進路を見つけられるよう指導しております。県外への大学進学率は65～70%程度で、中でも山梨から地理的に近い東京圏への進学が多くなっています。生徒が高等学校3年間を通じて、自身の希望と向き合い、努力し、生徒自らが選択し、希望をかなえられるよう、進路指導を充実させて参ります。</p>
14	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅲ だれもが安心して学べる教育環境の整備 基本方針1 質の高い教育のための環境整備に努めます (2)魅力ある学校を支える指導体制の充実</p>	<p>1クラス25人を基本とする少人数学級編成を小・中学校において計画的に段階的に導入することを検討します。</p> <p>この少人数学級にすることにより、先生などの人件費が増加し、財政を圧迫します。また、学校の規模(教室数)も変化し、多くの教室を用意しなくてはならなくなり、これもまた、市町村の財政を圧迫します。よって再考を願います。</p>	1	<p>【反映困難】</p> <p>県では、一人一人の児童生徒に、きめ細かな質の高い教育を実現することを目指し、少人数教育の推進を図って参りたいと考えております。</p> <p>25人を基本とする少人数学級編成については、今後設置予定の検討会等を通じ、学校現場への影響などを考慮する中で、どのような規模や手法で進めていくのかや、教員の確保など様々な面から検討して参ります。</p>

No	該当箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
15	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅱ 人生を豊かにし、社会を支える生涯学習の展開 基本方針1 学びと活用が循環する生涯学習を推進します (1)生きがいを持ち、社会参画するための学びの推進</p>	<p>この事項は、義務教育に制度化して入れることが重要です。年2～3回、学校の授業として劇場・美術館・スポーツ観戦などに出向き、本物に触れることが大切です。欧米の先進国では、学校授業は下より、家庭でも劇場に出向く家庭教育を推奨(または義務付け)しているところもあります。</p> <p>現在山梨県でも指導者派遣事業などで学校に出向き授業を行う取り組みがありますが、児童・生徒が劇場などに行きことが大切です。文化は長い時間をかけて地域や環境で生まれ、芸術はそれを伝えるための様々な技巧があり、スポーツは臨場感など、その場でなくては伝わらないものがあります。数字では測れない文化教育が、やがて日本を背負う子どもたちが、グローバルな社会に適応する人材に育ちます。</p> <p>今の日本では個人の趣味としての扱いであるため、本来全ての子どもたちが必要である、数字より大切な教育に不公平が生じていることに、日本の将来に不安が募ります。</p>	1	<p>【記述済み】</p> <p>現在、各学校では、地域の美術館や博物館等へ訪問し、絵画や文学、歴史等に触れながら、文化芸術に親しみ、理解を深める教育活動が行われております。美術館や博物館の学芸員による出前授業や、美術館や博物館の教材を活用した授業などの工夫も行われております。</p> <p>県として、「伝統や文化等に関する教育の推進」を本計画に位置付け、博学連携の推進に取り組み、地域の特色や学校の実態に応じて、子供たちが文化芸術活動に親しむ機会の充実を進めて参ります。</p>
16	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅱ 人生を豊かにし、社会を支える生涯学習の展開 基本方針1 学びと活用が循環する生涯学習を推進します (1)生きがいを持ち、社会参画するための学びの推進</p>	<p>現在中学・高校の部活動は素人教員や生徒同士で活動が行われています。この実態は非常に危険です。スポーツにおいても文化においても、将来のある子どもたちに重大な傷害を与えることに繋がります。部活動は子どもたちの視野も広げますが、素人の指導により可能性を損ねていることが多くあることに注視していただきたいと思えます。教員と協力するよりも専門家による指導を望みます。</p>	1	<p>【記述済み】</p> <p>本計画では、基本目標Ⅲ基本方針1「質の高い教育のための環境整備に努めます」において、教員以外の専門スタッフ・外部人材を活用することとしており、部活動においては、部活動指導員の配置を促進することとしております。</p> <p>文化芸術・スポーツに秀でた地域の方々に部活動指導員として加わっていただくことで、生徒が専門的な指導を受けられるだけでなく、その間、教員は教材研究や生徒指導等に力を注ぐことができます。地域との連携の充実はもとより、各職種の専門性が発揮できる「チームとしての学校」の推進にもつながることも期待されております。</p>

No	該当箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方
17	<p>第5章 施策の具体的方向 基本目標Ⅲ だれもが安心して学べる教育環境の整備 基本方針1 質の高い教育のための環境整備に努めます (2)魅力ある学校を支える指導体制の充実</p>	<p>小学校の25人学級には賛成しかねます。 第1に、教員の力不足です。社会経験のない人がいきなり人の教育をすることは難しことは共通の認識と思います。生徒の数が少なくなったからと言って、この問題は解決しません。また、教員が再勉強をするのにも時間がかかり、さらに、彼らの育ってきた教育に問題がなかったとしたら、再教育は必要ないことと思います。 第2に、時代遅れではないでしょうか。若者のコミュニケーション不足が問題となっている昨今、今よりも狭い環境に押し込めるのは問題だと感じます。自分と違う意見を沢山知ること、自ら考え、学ぶことがこれからの社会に求められています。国内においても実験中ではありますが、大勢の生徒を多数の教員で指導することが行われています。 第3に、いじめの対象となった子どもの逃げ場がなくなります。狭く閉ざされた学級ではよりいじめが行われやすく、居場所がなくなります。 ☆これらの危険を侵して少人数にするメリットがあるでしょうか。 たとえ40人学級になっても、前から押し付けの教育ではなく、いつでも子どもたちを横から後ろから見る目があることが重要だと思います。退職教員や地域の有識者などの有償ボランティアの活用を積極的に行う必要があるでしょう。 また、支援が必要な子どもも増加傾向にあるため、普通学級の人数を減らすよりも、支援学級を増設し、皆がそれぞれの進歩にあった教育の充実を考えていただきたいと思います。学校教育・社会教育・生涯教育が行政において縦割りなのに疑問もあります。</p>	1	<p>【反映困難】 県では、一人一人の児童生徒に、きめ細かな質の高い教育を実現することを目指し、少人数教育の推進を図って参りたいと考えております。 25人を基本とする少人数学級編成については、今後設置予定の検討会等を通じ、学校現場への影響などを考慮する中で、どのような規模や手法で進めていくのかや、教員の確保など様々な面から検討して参ります。 なお、ご指摘の課題に関しては、本計画に位置付けられた次の施策を着実に実施する中で課題解決に取り組んで参ります。 教員の資質向上については、「魅力ある学校を支える指導体制の充実」を着実に推進し、学校教育を担う教員の資質・能力向上に取り組んで参ります。 児童・生徒のコミュニケーション不足などについては、「しなやかな心の育成プロジェクト」の推進を図り、小・中・高での取り組みと、家庭・地域における取り組みを実施することにより「豊かな心の育成」に努めます。 いじめについては、児童生徒が安心して学校生活を送るために、「いじめ防止基本方針」に基づき、学校と教育委員会が連携して適切に対処するよう努めて参ります。</p>